昭和樂譜

改訂五版

No. 2

伴二

奏音

譜

附

秋

夜

犬

重り

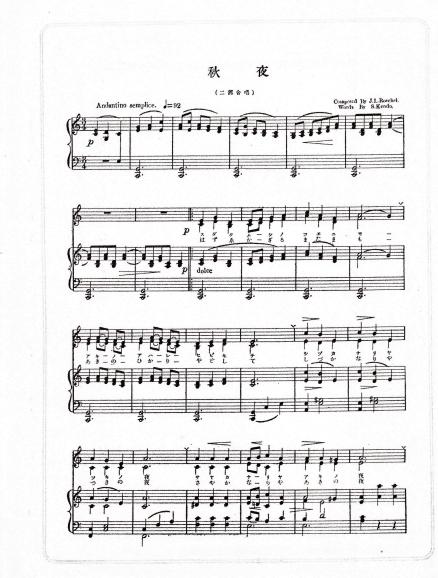
崩ル

放ル

歌曲

王勢 原田心占士民

可樂言編



ううろうからからからからううちつうち

大曲き) ○第七編 向) 〇第四編 みてらの鐘の音 (新傑作二部合唱しんみりした) 〇第五編 好評) ○第三編 モツアルトのアルファベツトソング(頗るキレイな三殊に) ○第一編 初雁 (女子上級向) ○第二編 秋校 (ト焼る美二部合唱名曲糸部 ラス 春を待つ歌(痛能もあり) 〇第六編 里のうぐひす (三部原曲ャサシ) キレイ特別編) ふ(奏附例の故郷を離る、歌本會アレンデ曲) 〇第十一編 ハレルヤコー ○第十二編 アヴェマリア (メンデルソーン傑作高女四五年生位にも (努力を以つてアレンザせしもの歓詞邦譯亦萬人の滿足せらるゝさころ特別(有名なるヘンデルの大傑作、唱ひよくヒキやすく而も眞價を失は凶やう大 ○第九編 幻のさゝ舟(新女子向曲) ○第十編 故郷を懐 峠を越えて (新傑作大好評ア) ○第八編 花紅葉 (特別編三

園質費(窓料共)完別五拾錢(關體東に大割引)各編共別々にピースごしてありますから自由經緯も仰出來になります。共時の今費は○アダエマリア二十錢の北米第二十錢の其他に皆十錢の送料令飢錢であります。⑤剛健で得申込の際に勿論大割引致しますが物人数によつて報がちがひますからぜい一應物館令を願ひます。

胸をおほふ震もはれて 心清らや あばれわたる雁の敷はよめざ さまるた田は何處ぞ都かなりや月の夜 さやかなりや秋の夜ずたく蟲の撃にも 秋のあはれびゞきてすだく蟲の撃にも 秋のあはれびゞきて

夜

犬童信藏作歌

胸の悪ひ露さ消えて 心すがしや あはれ風な誘ふ笛のひゞき 誰に寄する調べぞしづかなりや月の夜 さやかなりや秋の夜はすゑかざる またまも秋の光りやごしてはすゑかざる またまも秋の光りやごして

